



40th あわせ

Anniversary of the Foundation

沖縄県立泡瀬特別支援学校創立40周年記念誌









創立40周年記念誌



沖縄県立泡瀬特別支援学校

目 次

本校の校訓・校章・校歌・・・・・・・・・・・・・・・・	8
1 挨拶・祝辞・・・・・・・・・・・・・・・・	9
挨拶・・・・・・・・・・期成会会長（第15代校長） 友利 敏博	10
祝辞・・・・・・・・・・沖縄中部療育医療センター院長 高良 幸伸	11
2 沿革・・・・・・・・・・・・・・・・	13
3 泡瀬の現在・・・・・・・・・・・・・・・・	17
学部紹介（小学部低学年）・・・・・・・・	18
学部紹介（小学部高学年）・・・・・・・・	19
学部紹介（中学部）・・・・・・・・	20
学部紹介（高等部）・・・・・・・・	21
4 思い出・・・・・・・・・・・・・・・・	23
「笑顔とともに」・・・・・・・・第13代校長 真喜屋 祥子	24
「仲間達へ感謝！感謝！」・・・・・・・・第14代校長 長浜 勝直	25
「自分らしさを大切に」・・・・・・・・第16代校長 田盛 信寿	26

編集後記



校 章



形に関して

- ・ 障害を克服し、自立する生徒
- ・ 周囲から見守り、ささえる力

色に関して

- ・ だいだいは、躍動・活発なという意味
- ・ 緑は、安定・親愛・公平なという意味

泡瀬特別支援学校 校歌

作詞：中村 準

作曲：嶺井律子



校 歌

一

比屋根の原に空高く
 松風さえる学園で
 心に光ともしつつ
 互にのぞみ胸にして
 はばたく翼つくろうよ
 あゝ、さわやかや泡瀬校

二

中城湾の陽をうけて
 姿を見せる学園で
 体に力たくわえつ
 共に助けの手をのべて
 若い命をそごうよ
 あゝ、うるわしや泡瀬校

三

太平洋の波よせて
 潮風まねく学園で
 学びに魂もやしつつ
 まことの筆をひびかせて
 未来を永久にあゆもうよ
 あゝ、すばらしや泡瀬校

1 挨拶・祝辞



挨拶

期成会会長（第15代校長） 友利 敏博

本日ここに、沖縄県立泡瀬特別支援学校創立40周年の祝賀の儀を執り行うにあたり、ご来賓の皆様をはじめ、PTA会員の皆様、関係各位にご臨席いただき、共にお祝いできますことは、この上ない喜びであり、期成会を代表して衷心より御礼申し上げます。

養護学校が義務教育の一環として位置づけられた昭和54年、本校は、沖縄県立那覇養護学校分教室としてスタートしました。以来、時代の流れとともに変わりゆく教育的ニーズに応じて発展を続け、今年で創立40周年を迎えることとなりました。

これまで多くの子どもたちが、それぞれの「生きる力」をこの場で懸命に磨き、先生方は肢体不自由教育の専門性の向上及び真摯な指導・支援に努めてきてくださいました。在校生、卒業生、さらには保護者の皆様の、前向きで粘り強く、そして和を大切にしようとする気質は、校訓「明るく・なかよく・たくましく」を掲げた教育実践を、40年間積み重ねてきた歴史の賜物だと確信しております。

昨今、時代の流れはことのほか速く、この10年の間、世は平成から令和へ移り、コロナ禍による未曾有の事態、人々の分断を招く様々な思想の興起など、想像を超える変化の激しさにしばしば驚かされます。そして、子どもたちは、このような混沌とした社会を歩んでいくことになります。先の見えづらい時代ですが、そんな今だからこそ、よりよく生きるためには、普遍的な力を身につけていく必要があるのではないのでしょうか。

本校の教育活動の中で、子どもたちは、各々の持てる力を可能な限り伸ばし、最大限に発揮できるよう、日々努めています。そして、身につけた力を精一杯使って、様々な形で社会、他者と関わっています。人によってそれが、企業等での労働であったり、言葉や笑顔による意思のやりとりであったり、音楽の味わいを静かに周りと共有したり、その純粋さで接する人たちに癒しを与えたりと各々異なりますが、自身の有する力を最大限に発揮し、自分のやるべきことに懸命に向かう点是一緒です。このような姿に「充実した人生とはどういうものか」「人はどう生きるべきか」の普遍テーマについて、多くのことを学ばせてもらったように思います。

泡瀬特別支援学校には、子どもたちが、有する力を最大限発揮して、何らかの形で周りをポジティブにしてくれる、そんな人材になれるよう営みを続け、共生社会の発展にも寄与するような、大切な学びの場であり続けることを今後も期待します。

結びに、この度の祝賀に係る諸々のお取組にご尽力されました、校長先生はじめ諸先生方、PTA、保護者及び関係者の皆様、そして、本校の教育活動を支えていただいております県教育委員会、中部療育医療センターの皆様をはじめとする関係各位に感謝を申し上げますとともに、引き続きの協力をお願い申し上げ、お祝いのご挨拶といたします。

祝 辞

沖縄中部療育医療センター院長 高良 幸伸

沖縄県立泡瀬特別支援学校が創立 40 周年を迎えるにあたり、心よりお祝いを申し上げます。また、長年にわたり、私どもの施設に入所している児童生徒だけでなく、地域で生活し就学において特別な支援が必要な多くの子供達のために、熱い思いと深い愛情で特別支援教育にご尽力をされた歴代の校長先生をはじめ諸先生方に対しまして、心より厚く感謝と敬意を表します。

私ども沖縄中部療育医療センターは、昭和 53 年に那覇市の肢体不自由児施設「沖縄整肢療護園（現沖縄南部療育医療センター）の中部分園」として、主に脳性麻痺を中心とした施設として沖縄市に開設されました。しかし開設 10 周年の昭和 63 年に、対象を肢体不自由児のみならず小児期のすべての発達の障害に拡大し、早期発見、早期療育、ノーマライゼーションの確立の必要性に鑑み「沖縄小児発達センター」に改称しました。さらに、平成 26 年には旧施設の建て替えを契機に、医療と福祉の専門機関として地域の拠点機関の役割を担う観点等から医療型障害児入所施設「沖縄中部療育医療センター」へ改称いたしました。

貴校は、当施設が開設された翌昭和 54 年に、当時の施設の病棟内に貴校の前身である県立那覇養護学校分教室が開設され、その後、昭和 60 年に沖縄県立泡瀬養護学校として開校されました。さらに平成 13 年には念願の高等部が設置され、その後、特別支援教育の推進や医療的ケア児への教育機会の推進とともに、地域の中心的な役割を担う目的で名称を泡瀬特別支援学校と改称され名実ともに着実にご発展を遂げられました。

思い返すと貴校と当施設は、隣接していく長所を生かし 40 年余の継続的な良好の協力関係の下、お互いがそれぞれ時代の変化に適切に対応して成長を成し遂げてこられたと感じます。本当にこれまでの諸先輩方のご理解やご協力に改めまして深く感謝申し上げます。

私は平成 15 年に当施設に小児科医として入職し、半年後には院長に就任と同時に貴校の学校医となりました。当初は学校には肢体不自由の児童生徒が主でしたが、近年は医学の進歩や在宅医療の拡大等により高度で濃厚な医療的ケアが必要な子供達の増加に伴い、特別支援学校での受け入れの支援体制の充実が推進され、現在はその子供たちの就学が増加をして教育保証が促進されています。同時に、これまで以上にその子供たちの健康維持や増進を図り、安心安全な学校生活を送ることが出来るように学校医としての役割と責任が重大になっています。そして何よりも医療、福祉と学校の緊密な連携が必要不可欠です。

特別な支援が必要な子供達が、安心して安全に健康的に学校で学ぶ機会が充実し拡大ができるように私どもは今後も貴校と協力をしていきたいと思いをします。今後も学校医として、また当施設の長として、私共が提供できる医療と福祉の機能を貴校の教育と有機的に連携強化を図れるよう一層の努力と協力を惜しまないと考えています。

沖縄県立泡瀬特別支援学校の今後のご活躍ご発展を心から祈念申し上げます。

2 沿 革



昭和55年	4. 1	発令：初代校長 平良正久（兼任）
	4. 21	県立那覇養護学校、泡瀬分校開校式、入学式举行（小学部）
昭和56年	4. 9	第2回入学式举行（小9名）
昭和57年	4. 9	第3回入学式（小11名、中1名）
昭和58年	4. 9	第4回入学式（小4名）
昭和59年	4. 10	第5回入学式（小6名、中1名入学）全児童生徒数36名
昭和60年	4. 1	沖縄県立泡瀬養護学校独立開校 発令：初代校長 久高利夫
	4. 10	入学式、転入式（小42名、中15名入学）全児童生徒数57名
昭和61年	4. 8	第2回入学式（小9名、中7名入学）全児童生徒数62名
昭和62年	4. 8	第3回入学式（小10名、中6名入学）全児童生徒数63名
昭和63年	4. 8	第4回入学式（小10名、中2名入学）全児童生徒数57名
平成元年	4. 1	発令：第2代校長 宮城孫尚
	4. 8	第5回入学式（小18名、中3名入学）全児童生徒数67名
平成 2年	4. 9	第6回入学式（小12名、中7名入学）全児童生徒数68名
平成 3年	4. 1	発令：第3代校長 新屋敷秀樹
	4. 9	第7回入学式（小8名、中3名入学）全児童生徒数69名
平成 4年	4. 8	第8回入学式（小17名、中8名入学）全児童生徒数82名
平成 5年	4. 8	第9回入学式（小13名、中7名入学）全児童生徒数83名
平成 6年	4. 1	発令：第4代校長 大城勇一
	4. 8	第10回入学式（小4名、中11名入学）全児童生徒数83名
平成 7年	4. 10	第11回入学式（小18名、中10名入学）全児童生徒数97名
平成 8年	4. 9	第12回入学式（小19名、中10名入学）全児童生徒数97名
平成 9年	4. 1	発令：第5代校長 銘苅愛子
	4. 8	第13回入学式（小18名、中10名入学）全児童生徒数112名
	7. 17	皇太子殿下同妃殿下本校御視察（宮内庁東宮職、沖縄県知事、沖縄市長、県教育長等が来校）
平成10年	4. 8	第14回入学式（小9名、中11名入学）全児童生徒数112名
平成11年	4. 1	発令：第6代校長 伊良皆賢哲
	4. 8	第15回入学式（小5名、中10名入学）全児童生徒数98名
平成12年	4. 10	第16回入学式（小13名、中6名入学）全児童生徒数104名
平成14年	4. 1	発令：第7代校長 宮城敏
	4. 8	小・中学部第18回、高等部第2回入学式（小25名、中18名、高10名入学）全児童生徒数134名
平成15年	4. 8	小・中学部第19回、高等部第3回入学式（小15名、中14名、高6名入学）全児童生徒数143名
平成16年	4. 1	発令：第8代校長 長嶺安三
	4. 8	小・中学部第20回、高等部第4回入学式（小18名、中7名、高11名入学）全児童生徒数148名
平成17年	4. 7	小・中学部第21回、高等部第5回入学式（小14名、中8名、高13名入学）全児童生徒数134名
平成18年	4. 1	発令：第9代校長 宮城哲子
	4. 7	小・中学部第22回、高等部第6回入学式（小16名、中11名、高11名入学）全児童生徒数157名
平成19年	4. 7	小・中学部第23回、高等部第7回入学式（小15名、中8名、高10名入学）全児童生徒数158名
平成20年	4. 1	発令：第10代校長 宮城進
	4. 8	小・中学部第24回、高等部第8回入学式（小16名、中25名、高6名入学）全児童生徒数162名
平成21年	4. 8	小・中学部第25回、高等部第9回入学式（小7名、中11名、高10名入学）全児童生徒数156名
平成22年	4. 1	発令：第11代校長 兼本タカ子
	4. 8	小・中学部第26回、高等部第10回入学式（小11名、中20名、高9名入学）全児童生徒数161名
平成23年	4. 7	小・中学部第27回、高等部第11回入学式（小9名、中15名、高24名入学）全児童生徒数160名
平成24年	4. 10	小・中学部第28回、高等部第12回入学式（小6名、中15名、高11名入学）全児童生徒数158名
平成25年	4. 1	発令：第12代校長 比嘉良高
	4. 9	小・中学部第29回、高等部第13回入学式（小7名、中15名、高18名入学）全児童生徒数154名
平成26年	4. 8	小・中学部第30回、高等部第14回入学式（小9名、中18名、高15名入学）全児童生徒数132名
平成27年	4. 1	発令：第13代校長 眞喜屋祥子
	4. 8	小・中学部第31回、高等部第15回入学式（小10名、中4名、高14名入学）全児童生徒数140名
平成28年	4. 11	小・中学部第32回、高等部第16回入学式（小8名、中15名、高16名入学）全児童生徒数134名
	10. 13	小学部修学旅行（小学部6年：本島北部）～14日
	10. 21	PTA夕涼み会（4あわせ祭り）
	12. 4	第20回学習発表会 テーマ「笑顔とパワーを一つに成功させよう！」
	12. 7	4あわせマーケット（買い物・販売学習）
平成29年	4. 10	小・中学部第33回、高等部第17回入学式（小9名、中9名、高19名入学）全児童生徒数128名
	10. 14	第20回運動会 テーマ「力を泡瀬（あわせ）キラキラ笑顔で勝利を勝ち取れ運動会」
	10. 31	中学部修学旅行（福岡県北九州スペースワールド他）～11/3日
	11. 29	小学部修学旅行（本部町、海洋博記念公園、美ら海水族館）～30日
	2. 8	沖縄県健康教育大会（学校安全功労賞を学校として受賞）
平成30年	4. 1	発令：第14代校長 長浜勝直
	4. 10	小・中学部第34回、高等部第18回入学式（小9名、中8名、高3名入学）全児童生徒数105名
	9. 21	第2回火災避難訓練、PTA防災学習

令和元年	10. 28	中学部修学旅行（関西方面）～30日
	11. 1	小学部修学旅行（本島北部）～2日
	12. 9	第21回学習発表会 テーマ「感動のうずをまきおこそう みんなが主役メラメラ燃える 泡瀬魂」
	4. 9	小・中学部第35回、高等部第19回入学式（小8名、中7名、高12名入学）全児童生徒数109名
令和2年	6. 7	第1回火災避難訓練・PTA防災学習
	10. 4	PTAあわせスマイルフェア
	10. 23	中学部修学旅行（大阪ユニバーサルスタジオジャパン、海遊館等）～25日
	11. 7	小学部修学旅行（本部町、海洋博記念公園、美ら海水族館）～8日
	12. 8	第21回運動会 テーマ「力のかぎり つき進め パワー全開 かがやけ 泡瀬っ子」
	4. 6	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休業（～5/21） 全学部オンラインでの情報発信及び小・中学部、高等部は分散登校（5/12～5/20）
	5. 21	小・中学部第36回、高等部第20回入学式（小3名、中11名、高9名入学）全児童生徒数96名
	8. 12	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休業（～8/23）
	10. 23	中学部修学旅行（東南植物楽園）
	11. 6	小学部修学旅行（小学部6年：本部町 マリンピアザ沖縄元気村）
令和3年	10. 14	第57回九州地区肢体不自由教育研究大会（沖縄大会）～16日
	11. 29	第22回学習発表会 テーマ「来て！見て！聞いて！力を泡瀬コロナに負けずレッツエキサイト！」
	12. 15	あわせスマイルフェア 【表彰等】 小学部 山井楽人 読字力検定6級合格 中学部 仲泊厚志 英語検定4級合格、大分県いすマラソン2020 大分県知事賞 新人賞
	4. 1	発令：第15代校長 友利敏博
	4. 8	小・中学部第37回、高等部第21回入学式（小10名、中10名、高7名入学）全児童生徒数104名
	6. 7	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休業（～6/20）
	10. 14	小学部修学旅行（6年：本部町 マリンピアザオキナワ）～10/15
	11. 11	中学部修学旅行（DMMかりゆし水族館、北谷ビーチタワーホテル）～11/15
	11. 24	第22回学習発表会分散開催 小学部、中学部（11/25） テーマ「みんなの力を合わせて つきすすめ コロナに負けない 運動会」
	12. 15	スマイルフェア
令和4年	4. 11	小・中学部第38回、高等部第22回入学式（小9名、中7名、高9名入学）全児童生徒数98名
	9. 20	高等部県内修学旅行～22日
	10. 19	中学部修学旅行（大阪ユニバーサルスタジオジャパン他）～21日
	11. 1	小学部修学旅行（6年：ユインチホテル南城宿泊、沖縄ワールド）～2日
	11. 20	第23回学習発表会 テーマ「パワーと本気の二刀流!! うちなー魂でコロナに負けず力を泡瀬で笑顔全開の学習発表会」
	12. 7	あわせスマイルフェア
	4. 1	発令：第16代校長 田盛信寿
令和5年	4. 10	小・中学部第39回、高等部第23回入学式（小6名、中7名、高10名入学）全児童生徒数86名
	10. 15	中学部修学旅行（大阪ユニバーサルスタジオジャパン他）～17日
	11. 1	小学部修学旅行（6年：ユインチホテル南城宿泊、沖縄ワールド）～2日
	11. 9	高等部県内修学旅行～10日
	11. 26	第23回運動会 テーマ「一致団結！パワー全開！！はいやるぞ！！ニコニコ笑顔でLet' Enjoy運動会」
	11. 29	県外修学旅行（高等部：東京ディズニーランド）～12月1日
	12. 13	PTAあわせスマイルフェア（体育館）
令和6年	4. 9	小・中学部第40回、高等部第24回入学式（小5名、中11名、高5名入学）全児童生徒数87名
	10. 16	中学部修学旅行（大阪ユニバーサルスタジオジャパン他）～18日
	10. 20	高等部修学旅行（東京ディズニーランド他）～22日
	10. 31	小学部修学旅行（6年：サザンビーチホテル、沖縄ワールド）～1日
	11. 24	第24回学習発表会 テーマ「みんなで、力を泡瀬、楽しくチャレンジ!がんばろう!エイエイオー! あああい!!」
	12. 11	PTAあわせスマイルフェア（体育館）授業参観日
令和7年	4. 1	発令：第17代校長 岩崎政志
	4. 8	小・中学部第40回、高等部第24回入学式（小3名、中8名、高7名入学）全児童生徒数85名
	10. 19	高等部修学旅行（東京ディズニーランド他）～21日
	10. 25	第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」（滋賀県）～27日 高等部3年 新垣大翔 50メートルの部 16秒10 第2位
	10. 29	中学部県外修学旅行（大阪ユニバーサルスタジオジャパン他）～31日
	11. 5	地震・津波・火災避難訓練
	11. 16	PAWASE祭サブテーマ「Power World 青春」
	12. 2	あわせスマイルフェア
	12. 11	中学部県内修学旅行（琉球ガラス村→サザンビーチホテル&リゾート他）～12日
	12. 18	小学部修学旅行（5・6年：ユインチホテル南城宿泊、沖縄ワールド、DMMかりゆし水族館）～19日

3 泡瀬の現在



1年生



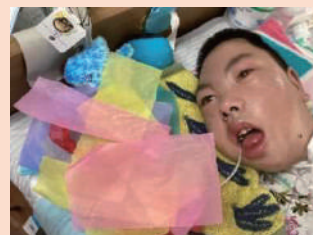
2年生



3年生



4年



5年

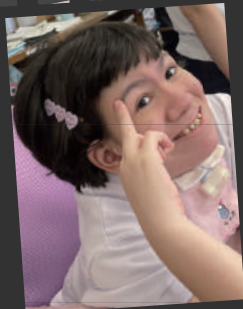


6年





2025 高等部



小学部 1年生・2年生・3年生



1年 稲嶺
作品:あさがお



1年 仲里 陽
作品:あさがお



1年 花城 詩愛
作品:あさがお



2年 I.R
作品:こいのぼり



2年 日高 丈士
作品:こいのぼり



2年 まさてる
作品:こいのぼり



3年 勝連 彩斗
作品:七夕



3年 つきひ
作品:七夕



3年 塩濱 羽叶
作品:七夕



3年 新江 海心
作品:七夕



3年 山内 萌音
作品:七夕



3年 末石 悠力
作品:七夕

小学部 4年生・5年生・6年生



4年 伊計湊



5年 廉旺



6年 古堅陽寿



4年 比嘉日衣子



4年 ウォーカーガイト



5年 大湾圭弥



4年 新里幸也



5年 蓮音



5年 AM



5年 久貝莉々奈



5年 謝敷基羽



6年 長浜柚菜

2年 安里 桜来



2年 後藤 万然



2年 玉那覇 湊



A W A S E

中学部

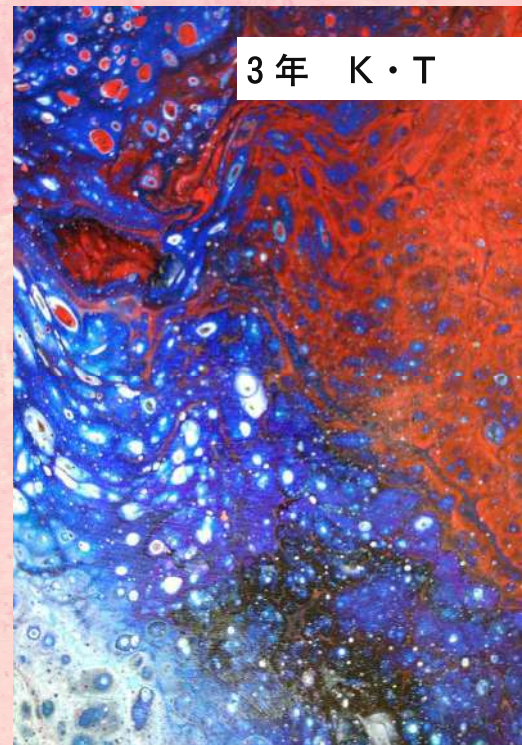


美術

ART

U
Y
O
I
A
T
T

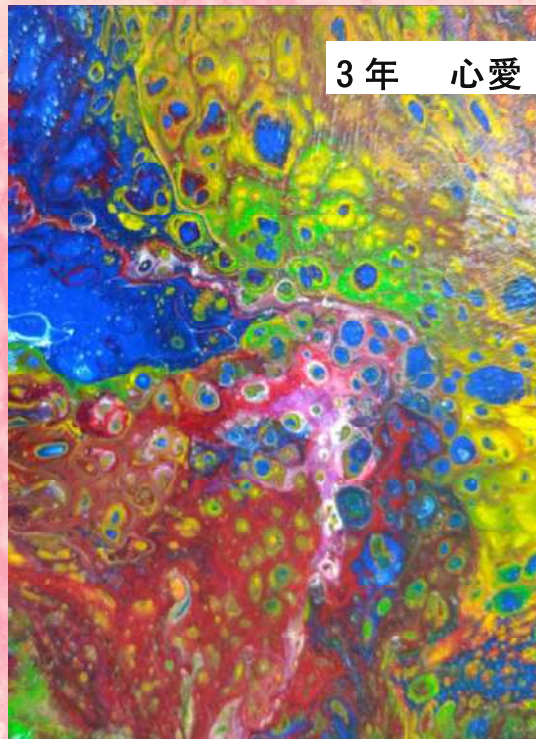
3年 K・T



2年 U・K



3年 心愛



3年 比嘉 珠乃梨





2 年
島袋 惺七

扇 風 機 ア ー ト



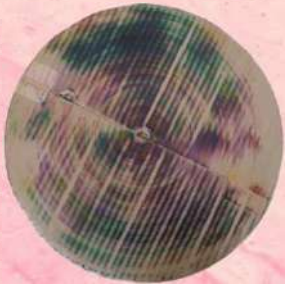
1 年 玉元 斗愛



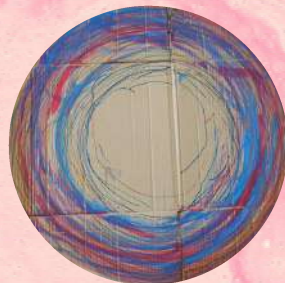
2 年 真榮田 也暉



2 年 外間 将豪



1 年 上原 力也



合同作品



2 年 前原 愛琉



3 年
沢紙 孔英

中学部・家庭科



2年 島袋 惺七



2年 奥原 由李菜



2年 真榮田 也暉



2年 島袋 惺七



3年 沢紙 孔英



2年 真榮田 也暉



1年 吉田 愛琉





喜納 隼人



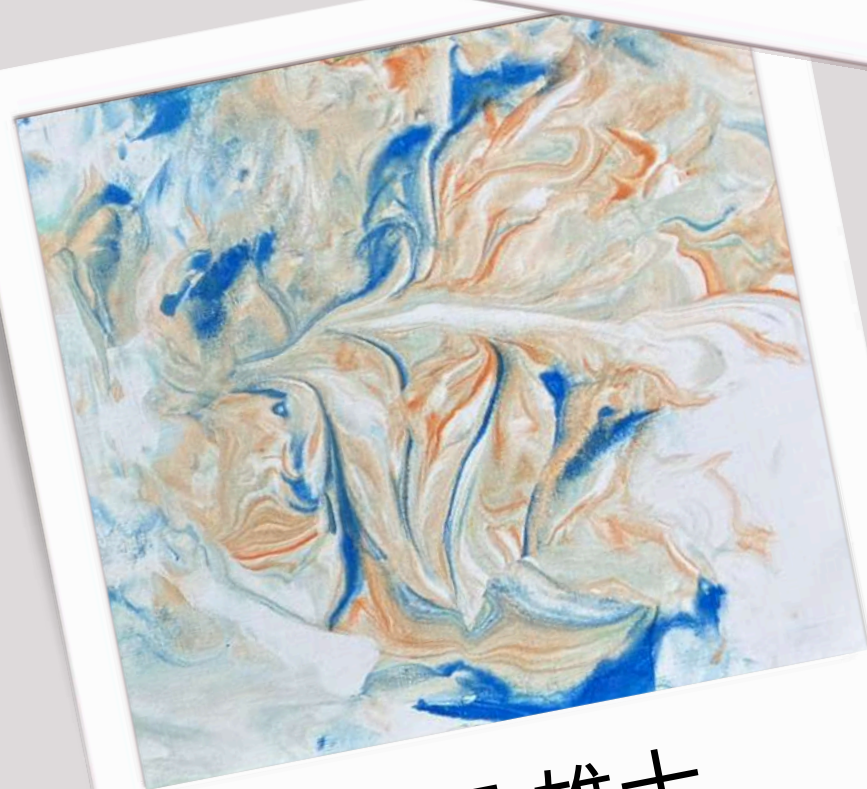
M.H



桴海 心結



高等部 作品集



照屋 雄士



古宇利 樹鈴



徳平 秀斗



S.M



渡具知 葵奈



新垣 大翔



『ストリング』
高等部 2年
高江洲 秋音
泡瀬特別支援学校



高等部 2年
津波古 柚貴
泡瀬特別支援学校



仲村 琉加



玉城 亮成



ゲーピルジャスミン希星



『ストリング』
高等部 1年
TAIGA
泡瀬特別支援学校



岸本 優花



就業・生活体験B班 Tシャツエコバッグ

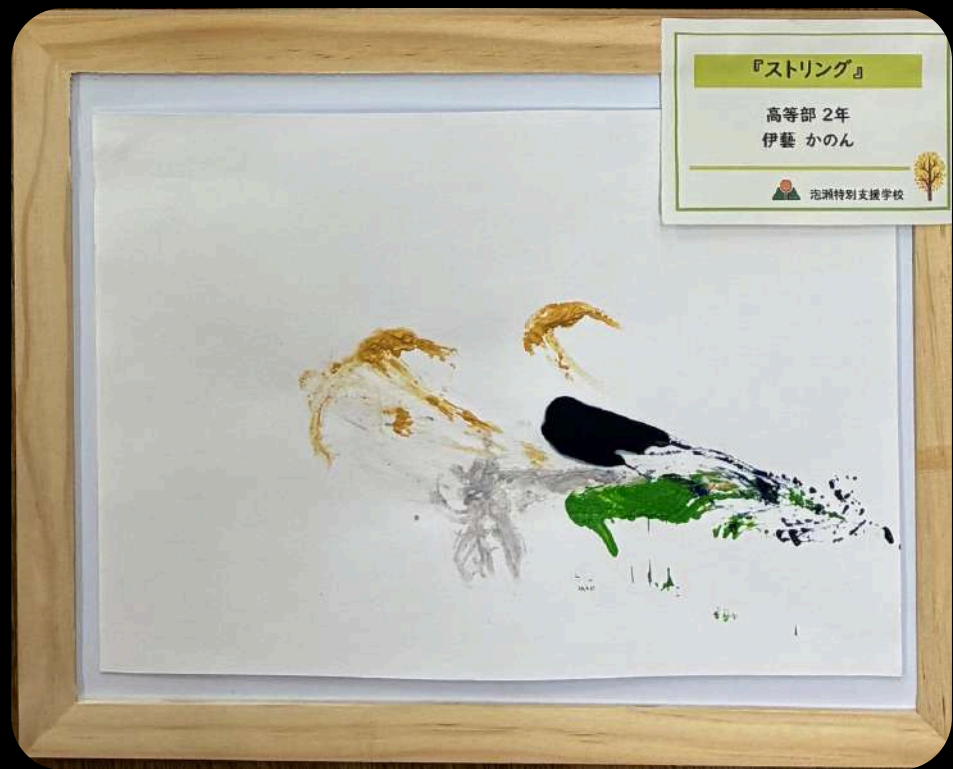


『Here I am!』
高等部 1年
安田 みその
泡瀬特別支援学校





グシュグシュ
美術合同制作 (毛糸に触れてつくる)



伊藝 かのん



徳永 悠人



瑞慶山 倫子



睡蓮 ～モネのマネ～
美術合同制作 (絵の具に触れてつくる)



訪問学級



小学部2年 TY



小学部4年 日和



小学部4年 伊佐勇人



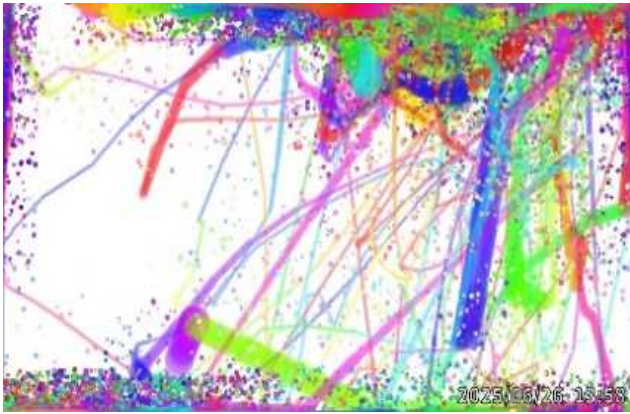
小学部5年 当銘 蓮人



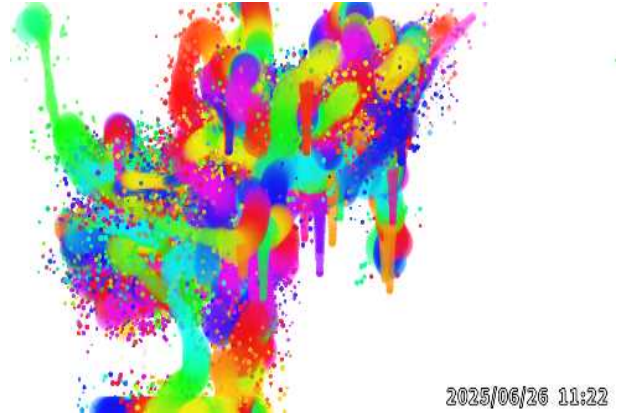
小学部6年 玻名城 奏



小学部4年 新垣盛汰



小学部2年 井上望花



小学部4年 上地智之



高等部3年 徳平秀斗
本人が文章を考えました！！



中学部2年 新垣海結



中学部3年 池原奈実



高等部2年 渡具知葵奈
本人が雨の色選びビー玉で描きました

4 思 い 出



笑顔とともに

第13代校長 真喜屋 祥子

泡瀬特別支援学校創立40周年おめでとうございます。

にっこり優しい眼差し、笑顔の子供達。「しょうこ先生」と気軽に声かけしてくれる先生方、保護者の皆さん、誰も知り合いのいない沖縄で不安な気持ちで泡瀬の校舎に向かった私でしたが、一転して笑顔になりました。

私にとって泡瀬特別支援学校は、生まれ故郷の熊本を離れ沖縄での教員生活の始まりと終わりを支えてくれた大切な学校です。初めての沖縄は分からないことだらけでした。そんな中、学校での生活は大変楽しい時間でした。今でも印象深く残っているのが、音楽の時間に「友達になれたらいいね」を子供達と歌い、行事の度にみんなで声高らかに歌っていたことが忘れられません。短い歌詞の中に温かさや優しさが詰まっており、泡瀬の子ども達にぴったりの歌でした。今でもメロディーが心の中に流れる時があります。そして子供達から多くのことを学びました。沖縄に来る前は中学校で教鞭を執っており、教師として「こうあるべき、こうしなければならない」といった思いが強かったのですが、泡瀬の子供達と共に過ごしていくことにより、不自由な体に負けず一生懸命課題に向き合う姿やおおらかで自由に楽しそうに活動する子供達にありのままの子どもを受け入れること、認めることの大切さを知りました。そしてそのことが自分の教員生活の土台になったように思います。沖縄での始まりが泡瀬であったことに喜びを感じています。

教頭で泡瀬に戻り、再び校長として泡瀬で退職を迎えることになり、変わらぬ子供達の笑顔に日々力ももらっていました。そんな中、防災の指定研を受け、地震津波への取り組みを行いました。丁度そのころ熊本大震災が起これ、生家の大規模半壊の光景を含め、被害の状況を目の当たりにし、言葉もありませんでした。その時に子供達の命を救うことを最優先にしなければと痛感し、担当を中心に学校、地域での体制づくりに取り組みました。総合教育センターとの連携や地域の協力もあり、取り組みが評価され、防災教育や防災活動に取り組んでいる学校などを表彰する「ぼうさい甲子園」において「ぼうさい賞」を受賞することとなりました。担当職員を中心に職員の活躍や保護者の皆さん、地域の皆さんのご協力があったからこそ充実した取り組みになりました。本当に感謝の気持ちで一杯です。自然災害の多い昨今子供達の命を守る取り組みが継続して行われることを願っております。

泡瀬で始まり、泡瀬で終わった教員生活。いつも子供達の笑顔が私の心の支えになっていました。子供達と関わりが持てたこと、子供達を一生懸命支えていらっしゃる保護者の皆さん、そして共に歩んでくださった職員との出会いは、私の財産です。PTAから頂いた卒業証書は私の宝物です。これからも子供達の笑顔と共に泡瀬特別支援学校の益々のご発展とご活躍を祈っております。

仲間達へ感謝！感謝！

第 14 代校長 長浜 勝直

創立 40 周年おめでとうございます。

私は、大学を卒業した昭和 60 年 4 月に始めて「泡瀬養護学校」に臨時的任用職員として勤務することになり、障害のある児童生徒との関わりその全てのはじまりの場所です。当時は、本館のみで一階が小学部二階が中学部、現在の中学部棟は駐車場で体育館は芝地の運動場でした。また、「あわせランド」も当時は全面芝で小中学部の児童生徒職員がよくそこで一緒に活動していたのを思い出します。本務の職員としての勤務、さらに管理職としての「泡瀬特別支援学校」での勤務、そして定年退職と私の教職員生活の大きな節目を泡瀬で過ごしました。

創立 40 周年記念誌への寄稿の依頼があった時に、定年退職を迎えた年度の記録ノートを開くと蛍光ペンで印しをした「再確認」のメモに目が止まります。

この「再確認」と記してある内容は、教職員生活を始めたこの泡瀬で出会った先輩達から教わったことで当たり前であるが私には重要な 3 点であり、県立総合教育センターへの寄稿の中でも触れています。その内容は・・・

1 点目、「子ども達の背景を通して学ぶこと」

2 点目、「子ども達は自分のことは自分で律したいと考えているということ」

3 点目、「機会ある毎に、自分を客観的に見ること」

心温まる先輩達から「よかつー、よかつー（与勝）」と呼ばれながら、子ども達一人一人の背景も違ふよ絶えず変化するよ。みんな「自分のことは自分で律したい」と思っているよこれは本能だよ。学校はいろいろな視点からの意見交換ができる場所だよ自身の意見もその中の一つとして客観的に見ることだよ。「よかつー、できるかー」と。

時間を忘れ、熱く熱く子ども達のことを語る先輩達に出会えたことに感謝します。

管理職で泡瀬に勤務した 3 年間は、様々な出来事が続いて起こりその対応にかなり時間を費やした思いがあります。学校での不祥事が新聞にとりあげられた際には、元同僚の職員や久しく会わないでいた学生時代の仲間達からも気遣いのメール、電話がありました。本当にありがたく力をもらえました。何より、現場で数々の出来事に共に対応してくれた仲間達、PTA 役員を中心に多くの保護者の皆さんが支えてくれました。管理職の 3 年間で保護者との密な連携は大きな強みであることを再確認しました。全ての保護者との密な連携は不可能に近いですが PTA 役員、特に PTA 会長との連携は重要です。自身の思い心の内を直接ぶつけ合うことが重要です。共に活動した仲間達へ感謝します。

私達の社会は、他者に迷惑をかけながら、そして他者から迷惑をかけられながら生活しています。困惑する事柄をうまくやり取りできると幸福を感じるものだと思います。何か解決すべき事が起きたときに「正確」な答えを求めがちですが、その多くは「明確な不正解でなければいい」と思います。そのような考えの中で互いにやり取りしながら解決しようと共に活動することでお互いに幸福を感じていけるのではないのでしょうか。泡瀬特別支援学校はこれからも複雑になっていく地域社会の中でその存在感を増しつつ、いろいろな困難も多くあるでしょう。その都度、理解し合い、協力して行動していくことで泡瀬特別支援学校は益々存在感を増し歴史を刻んでいきます。

泡瀬の皆さん、泡瀬特別支援学校には多くの応援団・仲間達がいます。

泡瀬特別支援学校の益々の発展を強く強く願っています。

仲間達へ感謝、感謝！

自分らしさを大切に

第 16 代校長 田盛 信寿

ドキュメンタリー映画『みんなの学校』 大空小学校 初代校長 木村泰子さんは、教職員は「風」、地域は「土」と表現しました。面白い表現だなと思います。地域の中で子どもたちは成長していきます。「教職員は地域に吹く一瞬の風のような存在ですが、どのように子どもたち・保護者・地域と関わりながら子どもたちの成長を見守っていきますか」ということなのかなと考えています。また、木村さんは「子どもの周りの大人は、全て子どものサポーター 子どもの周りの環境が良くなれば、子どもたちは主体的に育つ 誰ひとり取り残さない学校づくりは、さまざまな大人のチーム力が不可欠、学校に多様な空気が充満すれば、子どもは必然的に変わると・・・」 私は、泡瀬の発足職員会議ではいつもこの話を教職員に伝え「今年度の泡瀬は、どんな風が吹くのかなと楽しみでワクワクします」と締めくくりました。私が過ごした泡瀬での二年間、泡瀬の教職員は子どもたち・保護者との丁寧な関係を築きながら、ステキなあたたかい風を吹かせてくれたと感じています。

子どもたちには、いつも校長からの 3 つの願いをしていました。1 つ目は、「自分の好きなことを見つけること」。2 つ目は、「お友達や先生といっぱいお話すること」。3 つ目は、「自分のできることを自分のペースで増やすこと」です。自分の好きなことを見つかる、毎日が楽しくなります。周りの人といっぱい話すとお互いのことがよく分かるようになります。自分のできることが増えると嬉しくなります。自分のことが好きになります。次にやってみたいことを見つかると思います。子どもたちが自分のやり方で、好きなことを見つけ、周りの人といっぱいお話をし、どんどんできることが増えていくといいな、自分らしさや、自分のいいところをいっぱい感じながら、成長して欲しいなと思っています。子どもたちが、自分を好きになること、自分ってステキだなと思うこと、そして、自分の側には、必ず自分のことを理解してくれる仲間がいることや、自分は一人じゃないことに気づいて欲しいなと思います。

子どもたちにももらった、「笑顔のパワー」の話もしたいと思います。私は、毎朝子どもたちの教室を回りながら、一人ひとりに「おはようございます」「今日も元気かな」「朝ごはん食べたかな」と声をかけました。子どもたちは、一人ひとりの方法でステキな笑顔の挨拶を返してくれました。そのステキな笑顔の挨拶をもらって、心がほわっとして、とてもあたたかな気持ちになりました。「今日もみんな元気かな」って会いに行ったのに、子どもたちの笑顔に元気をもらっていました。子どもたちの笑顔には、周りの人を元気にしたり幸せにしたりする不思議な力があると思います。これからも学校中がみんなの笑顔で元気いっぱい幸せいっぱいになると嬉しいなと思います。みんなで、いっぱい笑いましょう。

最後に、私からのメッセージをみんなに贈りたいと思います。

一日一日をとにかくおもしろがってください。きっと、毎日が楽しくなります。

楽しいときは、いっぱい笑ってください。もっともっと毎日が楽しくなります。

悲しいとき、辛いとき、泣いてもいいと思います。でも、その後で必ず笑ってください。

きっと大丈夫です。必ず誰かがあなたのことをあなたの側で応援してくれています。

自分らしさを大切に、ゆっくりマイペースで、笑顔で前に進んでください。

泡瀬特別支援学校 創立 40 周年 おめでとうございます。



編集後記

このたび泡瀬特別支援学校創立 40 周年を記念して本誌を発行する運びとなりました。これまで歩んできた 40 年の歴史を振り返り、児童生徒の成長の記録とともに本校の今とこれからをお届けできればと思い心を込めて編集いたしました。冊子の形でお手元に届かなかった方にも今回からは公式ホームページ上で閲覧できるようにしています。

さて 40 周年事業の一環としては、老朽化した中庭「アワセランド」の改修や児童生徒の学習に必要な備品の購入を行いました。

その費用にあたっては、本校に在籍した児童生徒の保護者や教職員の皆様が積み上げてきた P T A 会費を活用させていただきました。

おかげさまで児童生徒の学習活動の充実に繋がり、誠に感謝の念に堪えません。また 12 月の P T O（今年度 P T A 改め保護者教職員応援団の略称）主催の行事「スマイルフェア」と同時開催で、ささやかな 40 周年記念イベントを開くこともできました。

本校の運営につきましては卒業生や保護者の方々、地域の方々からたくさんの温かいご支援をいただいております。

この 10 年の間にコロナ禍があり、寂しく辛いこともありました。それでも懐かしい写真や児童生徒の作品等を見つめながら、今も変わらず続く繋がりや絆に改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

泡瀬特別支援学校は、地域の皆様とともに歩む学校です。これからも児童生徒が笑顔で安心して学び成長し、自立と社会参加を目指す場として、地域に根ざし、地域に開かれた教育を大切にしていきたいと思います。

最後になりますが、本誌の制作に際しご寄稿やご協力いただいたすべての皆様に心より御礼申し上げます。

編集に携わった本校職員はじめ、周年事業を成功に導いたすべての方々にも感謝申し上げます。

今後とも泡瀬特別支援学校を温かく見守っていただけますように、そして絶え間ない支援をいただきますように何卒よろしくお願いいたします。

令和 7 年 11 月
校長 岩崎 政志



沖縄県立泡瀬特別支援学校創立 40 周年記念誌あわせ

2025 年（令和 7 年）11 月発行

発行 沖縄県立泡瀬特別支援学校創立 40 周年期成会

沖縄県沖縄市字比屋根 5 丁目 2 番 20 号

TEL：098-932-7584 FAX:098-933-0797

印刷 総合印刷業 コザ印刷所

沖縄県沖縄市東 1-4-18

TEL：098-937-5015 FAX：098-938-4359

